

シルバー とちのは

会員
募集中!



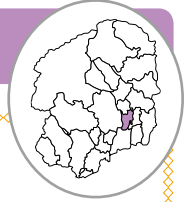
©JAPANCUP UTSUNOMIYA

【宇都宮市「ジャパンカップサイクルロードレース」】



シルバー人材センター
ゆるキャラ
「チエブクロー」

目 次	センター紹介 公益社団法人 芳賀町シルバー人材センター	1
	公益社団法人 壬生町シルバー人材センター	2
	公益社団法人 塩谷町シルバー人材センター	3
	空き家適正管理事業について(栃木市SC/那須塩原市SC)	4
	活動報告「シルバーの日」	5~6
	(小山市SC/真岡市SC/茂木町SC/那須町SC)	
	あなたの街の会員さん紹介(さくら市SC/野木町SC/鹿沼市SC)	7~8
	県民の日・介護の日イベント	8
	安全就業研修会/安全・適正就業パトロール	9
	高齢者活躍人材育成事業/事務局長会議/SC電話番号一覧	10
	配分金に対する所得税法上の取扱い/マイナンバー制度について	11



宇都宮市と隣接する、農工商に富む発展著しい町

芳賀町は、栃木県の南東部に位置し、東は市貝町、南に真岡市、西には宇都宮市、北には高根沢町と接しています。中央部には県内でも代表的な米どころとして知られる田園地帯が形成されています。また、果樹や野菜類をはじめ、施設園芸、畜産などの都市近郊型農業が盛んで、特に豊水などの梨は、町の特産品でもあり、県内有数の生産地として有名です。そして、町には芳賀工業団地と芳賀・高根沢工業団地があり、企業や研究所など約100社の立地が進み、農、工、商ともに発展しています。

※近郊型農業＝大都市の周辺で行われる農業



支えられる側ではなく支える側に・・・

当センターは、公共や民間企業、一般家庭からバランスよく仕事を受注しています。公共施設や工業団地をはじめとする民間企業への派遣事業の実績も年々伸びている状況です。町の介護予防事業の生きがいサロンでは、町内に19カ所ある生きがいサロンのうち、5カ所を町からの委託を受け11名の会員が、サロンの開催日にスタッフとして就業しています。60歳以上のひとり世帯、高齢者世帯、日中独居者などを対象としたこのサロンでは、体操や季節ごとのお楽しみ会、野外活動など、心身共に健康維持の為の様々な取組みをしています。これからも更に町とのタイアップを強化し、支えられる側ではなく支える側として、家事援助や生活支援に力を入れていきたいと考えています。



熱心に取組んでいます



カラフルでおしゃれな枕

大好評の独自事業

当センターでは竹炭入りそば殻枕や手さし等の手芸品を製作販売しております。会員さんが心を込めて丁寧に仕上げた竹炭入りそば殻枕は独自事業として販売を開始してからロングセラーの人気商品となりました。現在は、『道の駅はが物産館』『ロマンの湯』にシルバー専用の売り場を設け、町内はもちろん、町外、県外からのお客様にも大変好評をいただいています。

仕事の基本は安全就業にあり！

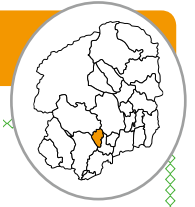
芳賀町シルバー人材センターでは安全就業委員会を中心に徹底した安全就業に取り組んでおります。その中に、毎月必ず就業前の朝礼及び安全パトロールの実施日を設け、会員の意識向上や危険箇所の確認、改善策を検討しています。

また、本格的な草刈りシーズン前には刈払機取扱講習を行い、専門の講師を招き、機械の整備、適切な刈り方など、実技を交え事故防止に努め、安全に就業できるよう取り組んでおります。



今日も一日安全に！！

公益社団法人 壬生町シルバー人材センター ☎ 0282 - 82 - 4682



豊かな自然と歴史の町

壬生町は、栃木県中央南部に位置し、人口約4万人の町であり、栃木県内で最も人口の多い町となっております。

とても自然豊かで、イチゴやかんぴょうの栽培が盛んであり、特にかんぴょうは江戸時代から栽培され、野州かんぴょうの発祥地として自他共に認められています。

おもちゃ工場を誘致して工業団地を開発したことから、「おもちゃのまち」というユニークな地名や駅が存在しています。また、壬生町の古墳の歴史は古く、日本の歴史上でも重要な古墳が多く点在しています。



みぶの妖精
ミーナちゃん

おもちゃ博物館・総合公園

町の中心部に「おもちゃ博物館」があり、隣に「とちぎわんぱく公園」・「壬生インターチェンジや壬生パーキング」が整備されており、これらを合わせて「道の駅みぶ」として国土交通省に登録され、毎日のように賑わっています。

毎年総合公園では、夏にはふるさとまつりでの花火大会、秋には産業祭、12月には有名ゲストを招き、ゆうがおマラソン大会が開催されております。



花火も上がり、祭りも最高潮!!

センターでは、博物館前の清掃や総合公園の清掃業務を年間通して請け負っており、催事の際は業務の一部や清掃などの就業に励んでおります。



子供たちで大賑わい

壬生町健康ふくしまつりに参加

平成27年10月25日に町民の健康・福祉の高揚を図るために健康ふくしまつりが開催され、当センターも「襖張り実演

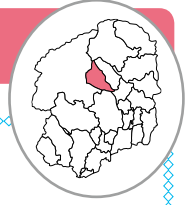


リーフレット・チラシの配布

「刃物研ぎ」を行い、どちらも大盛況でした。併せてリーフレットやチラシを配布し、町民の方にシルバー事業のPR活動を行いました。



説明もプロ級です



塩谷町の紹介



全国名水百選に選ばれた尚仁沢

塩谷町は、最北の釈迦ヶ岳が海拔1794.9m、最南の肘内地区が海拔181mであり、高低差が約1,600mもあります。

また、東側と西側には一級河川の鬼怒川と荒川が流れているため、北部は林産資源に富み、中南部は肥沃な農業地帯となっています。

平成9年の利き水大会では、「尚仁沢湧水」が全国第1位に輝きました。

さらに、スプレー菊の生産量については、栃木県は全国3位（H25年生産量）であり、塩谷町はその主な産地であります。



センターの就業状況

このような自然環境にあるため、当センターの事業は、草刈り作業がメインであり、請負や委任契約により民間・公共から受注した業務が中心です。

また、職業紹介事業と一般労働者派遣事業については、実施体制は整っていますが、実績はまだなく、今後、力を入れていきたいと考えています。

事務所のある塩谷町自然休養村センターは、高台に位置し、グラウンドや宿泊施設等も備えており、主に学生が利用しています。



塩谷町自然休養村センターからの眺めは最高です

ボランティア事業と研修旅行



皆さん協力して汗を流しています

去る10月5日に第43回町民体育祭の会場整備のボランティア事業を実施し、会員は草刈り等の作業に汗を流しました。

また、10月1日には会員の研修旅行で世界遺産に登録された「富岡製糸場」を見学しました。



会員研修旅行での一コマ

空き家適正管理事業の紹介

空き家適正管理事業について、市と協定書を締結して事業を開始した栃木市SC及び那須塩原市SCをご紹介します。

●●● 栃木市SC ●●●

全国的に空き家問題が浮上する中、栃木市では今年度から「栃木市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」が施行されました。それを受けて、所有者が高齢であったり、遠方に住んでいるなどの理由から空き家を適正に管理できない場合、市からシルバー人材センター業務を紹介してもらい、業務契約締結につなげるため、当センターでは栃木市との間に「空き家等の適正管理に関する協定書」を締結し、空き家等管理業務を開始いたしました。



市と協定書を締結しました

業務にはふたつの段階があります。まず第1段階は「目視点検」です。空き家なら家屋状態から庭の雑草や植木の状態など、空き地なら雑草や樹木の状態などを点検し、写真付報告書を提出します。請負金額は点検1回当たり1,300円です。第2段階は「作業請負」です。報告書を受け取ったお客様の中で、希望する方へは作業ごとに別途見積りし、条件が合えば契約を締結し作業をいたします。

空き家の除草や草刈り、植木手入れなどは以前から作業実績がありましたが、市と協定を締結することにより、シルバー人材センター事業の周知がより進むと思われます。また、これを機会に空き家問題の解消に向けて当センターが少しでもお役に立てれば幸いと考えています。

●●● 那須塩原市SC ●●●

那須塩原市SCでは、那須塩原市から委託事業として「空き家実態調査」を平成26年12月から平成27年3月の4ヶ月間に、那須塩原市の人口集中地区を対象に実施しました。目的は、将来に向けた空き家対策の在り方について検討を行う為の基本データを収集することでした。

その後、那須塩原市と連携した事業として、平成27年8月24日に「空き家等の適正管理に関する協定」を締結いたしました。この協定は、空き家等の適正な管理を推進し、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的とし、那須塩原市が所有者に空き家の適正管理を呼び掛ける際や空き家管理でお困りのお客様から問合せの際に、当センターを紹介していただけるといった那須塩原市との連携と協力体制ができました。料金は、空き家の場合は、家屋と庭の状態を確認し、報告書と写真を作成後、郵送して1回あたり2,000円、空き地の場合は、雑草と雑木の状態を確認して1回あたり1,500円と主に状況調査業務とし、その他所有者の要望による作業（除草・植木剪定・軽微な大工仕事等）の場合は、別途見積りにより新たに仕事を請負います。

空き家・空き地の管理は
おまかせください



現在までに、市からの紹介やお客様のお問い合わせはなく、実績はありませんが、空き家管理でお困りのお客様、空き家管理不全でお困りの近隣住民のために、引き続き、チラシの配布やホームページでのPR活動をして、地域社会に貢献できるシルバー人材センターを会員と共に目指します。

シルバーの日

10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」です。特に10月の第3土曜日を「シルバーの

公益社団法人 小山市シルバー人材センター



作品展は大賑わい

い)のボランティアを行いました。

この日は、あいにく前日からの雨の影響で、一地区が後日の開催となってしまいましたが、全部で約200名もの会員の参加を得て、清掃活動に汗を流しました。

それぞれの会場には、センターののぼり旗が掲げられ、「シルバーパワー」を十分にアピールできたことと思います。

小山市シルバー人材センターでは、普及啓発促進月間行事として、10月3日、4日の2日間にわたり、「会員作品展」を小山市文化センターギャラリーに於いて開催しました。

「会員作品展」では、250人余りの来場者があり、日頃の就業では見ることのできない会員の特技や趣味を、広く市民に披露することができました。

また、17日の「シルバーの日」には、センターの地区班組織単位ごとの7地区に分かれて清掃活動（道路のゴミ拾



悪天候の中、がんばりました

公益社団法人 真岡市シルバー人材センター



熱心に作業されています



窓も床もピカピカに!



ミーティングも入念に

当センターでは、10月第3土曜日（今年は10月17日）に、「シルバーの日」の活動として、真岡鐵道の主要駅舎や、コミュニティセンターなどの公共施設・運動場、主要幹線道路の清掃などの奉仕作業を実施しました。

事前の計画では、落ち葉清掃なども実施する予定でしたが、当日は朝から雨が降ってしまい、一部の作業は実施することができませんでした。しかし、参加した会員の方々は、カッパを着てのゴミ拾いや、除草作業、駅舎のガラス拭きなど、積極的に汗を流していらっしゃいました。

今年は、あいにくの悪天候により不完全燃焼で終了した「シルバーの日の奉仕作業」ですが、来年は天候に関係なく実施できて、より多くの市民の方にPRできるような「シルバーの日事業」を検討していきたいと思ひます。

活動報告

日」と設定し、毎年全国で普及啓発活動を展開しています。県内でも各地で様々な活動を行いました。

公益社団法人 茂木町シルバー人材センター



たくさんの方で賑わいました



刃物研ぎも好評でした



何が当たるかな？

10月4日(日)晴天の下、「道の駅もてぎイベント広場」で開催されたシルバーの日。会場づくりを始めた頃から来場者が徐々に集まり、開始時刻を待たずに女性会員による手作り品の販売コーナーには大勢の人が押し寄せる反響ぶり。また、会場の一角には実演コーナーを設け、障子・網戸の張替えや包丁など刃物研ぎを行いました。来場された町外のお客さまからは「家から包丁を持ってくれば良かった」という声があったほど、出来栄えに感心されていました。商品購入者にはガラポン抽選会の特典があり、賞品ゲットに大喜びする場面もあり大好評でした。

会員さんの協力で多くの来場者をお迎えすることができ、シルバー人材センター事業のPRが大盛況のうちに終了しました。とても充実した初秋の一日でした。

公益社団法人 那須町シルバー人材センター

10月10日土曜日、地域美化活動ボランティアと親睦目的のレクリエーションを兼ねた「シルバーの日」を実施いたしました。

広く住民の方々にシルバー人材センターを知ってもらおうと、今年度は町の中心地ではなく、南部の伊王野地区において実施しました。街並みを散策しながらのゴミ拾い作業、史跡や神社仏閣内での清掃作業、東山道伊王野道の駅及び山村広場にて草取り作業を総勢73名の会員が手分けして行いました。当日は穏やかで過しやすい陽気の中を、談笑しながらの楽しいボランティア活動となり、作業中は地域の住民から感謝の声も掛けられ、地域の美化向上に貢献することができました。

また、美化活動終了後は、恒例のグラウンドゴルフ大会を実施しました。あちこちから楽しそうな声上がり、日頃顔を合わせない会員同士が親睦を深める楽しいレクリエーションとなりました。



散策しながらゴミ拾い



神社の境内での清掃作業



力強いスウィング

あなたの街の

よしざわ はやお
吉澤 速夫さん

公益社団法人 さくら市シルバー人材センター



福島県 棚倉城跡にて

さくら市シルバー人材センターで活躍している吉澤速夫さんをご紹介します。

吉澤さんは毎朝の散歩と友人と囲碁を打つことが1日の日課になっているそうです。若いときに覚えて、それ以来、囲碁の世界に心惹かれて、今では月の半分以上囲碁を打っています。奥様には笑われているようですが、吉澤さんは「ボケ」

の防止に良いと思い、続けています。

また、旅行も好きで、東北方面に行くことが多く、福島県の棚倉城跡で撮った写真はお気に入りの一枚です。そして、70歳の時には北海道に行き、雄阿寒岳を登ったことは忘れられない思い出になったそうです。

2011年3月11日に起きた東日本大震災の際は、その2週間後に旅行を計画していたので、旅行をキャンセルすることを考えたそうですが、何としても行きたいという思いから、予定通り旅行を決行しました。まず、旅行のためにはガソリンが必要で、当時は深刻なガソリン不足だったので、旅行に十分なガソリン

を給油するのに何件もスタンドを回り苦労したそうです。なんとかガソリンを確保しながら、三重県伊勢市から奈良県の赤目四八滝に行き、最後に和歌山県那智勝浦町を訪れて旅を終えられたようです。旅行は失敗も多く、駐車禁止の場所に車を止めて反則切符を切られたり、道を間違えることもあるようですが、それも含めて、旅行を楽しんでいるようです。

吉澤さんはシルバーの会員になって16年、たくさんの人と多種多様な仕事ができることがとても良い経験になったと話されていました。これからもシルバーの仕事と趣味の囲碁と旅行を思う存分楽しんで、人生を謳歌していただきたいです。

おがさわら まさお
小笠原 眞雄さん

公益社団法人 野木町シルバー人材センター



障子張替のお仕事中心!!

野木町の小笠原眞雄さんをご紹介します。小笠原さんの仕事は、踏切の立哨業務に始まり、駐輪場整理を担当され、現在は障子・襖・網戸の張り替えなどをメインに行っています。

衰えぬ向上心から、去年は連合会が主催する刈払機の講習会にも参加し、即座にご自分で刈払機を

購入され、練習してしまう行動力あふれる方です。

また、年初には足首を骨折するという大怪我をされて、普通であればリハビリなどで長期間復帰できないところを積極的にリハビリに励まれ、2か月程で復帰されました。

障子担当は人数も多くないので、早期復帰は事務局としても本当にありがたく、頭の下がる思いでした。

このように活動的な小笠原さんですので趣味もまた多方面にわたります。その中から、今メインに行っている吹矢についてご紹介します。

小笠原さんがされている吹矢は、腹式呼吸法を積極的に用い

る健康法と日本古来の吹き矢（吹矢）を融合させた競技でスポーツ吹矢です。週に何回か練習に参加し、日々吹矢の腕を磨いているようです。この腹式呼吸が小笠原さんの健康維持の秘訣であろうと確信しています。

また、本人からも「ダイエットに良いよ。」という話もありました。

今回お話を聞くにあたり、仕事だけではなく趣味も精力的に活動するということが、シルバー人材センターの会員としてあるべき姿ではないかと考えさせられました。

仕事も趣味も、様々な生きがいを持って今後も元気に活躍していただきたいです。

会員さん紹介

かしわぎ ひろみ
柏木 弘己さん

公益社団法人 鹿沼市シルバー人材センター



マッターホルンにて、パチリ!!

鹿沼市の柏木弘己さんをご紹介します。三重県伊勢のご出身で、昭和45年に大阪から鹿沼工業団地の工場へと転勤になり、第二の故郷として鹿沼市に移り住んでいます。

現役時代には青空の下で仕事をすることが一度も無かったとのことですが、平成14年5月に入会して間もなく、りんご栽培農家で摘果作業のお手伝いを始めました。小さな青い実の中から大きく美味しくなりそうな実を残す作業はりんご栽培農家にとって直接収穫に繋がるとても

大切な作業であるため、緊張の毎日だったことが思い出されるとのことです。その後、幾つかの仕事を経て、現在は学童保育の仕事に携わっています。学童保育の教室がご両親にとって安心・安全で、児童たちが笑顔で通って来られる場所になるよう、保育・指導する仲間と考えていきたいとおっしゃっています。

また、趣味で始めた絵手紙の虜になり、日本絵手紙協会公認講師資格を取得して、今では学童保育の合間にシルバー人材センター内で絵手紙教室を開いています。市民文化祭の絵手紙展等に教室単位で出展しているそうです。年に一度の全国絵手紙友の会大会に参加して仲間と会うのがとても楽しみで、教室の生徒の皆さんにも交流を勧めています。数年前までは、毎年2回ほど中国蘇州市の聾啞学校に夫婦で絵手紙指導に行かれていたそうです。そ

の他、小学校の親子教室授業や春・夏・冬休みの長期休業時の学童保育では、ボランティアで絵手紙教室も開催しています。

多趣味の柏木さんは、10年前に盲腸癌手術をしたものの健康に気を付けながら、仲間と月2～3回のゴルフ、山歩きや夫婦でドライブを楽しみながらのスケッチ旅行（全県走破）と、休日は家にいる事が無いほどに充実した毎日を送られているようです。



柏木さんの力作です

「県民の日」「介護の日」イベント

6月15日に「県民の日記念イベント」が、11月7日には「介護の日フェスティバル」が栃木県庁で開催され、連合会では、シルバー人材センター事業に関するパネルの展示やパンフレットの配布を行いました。今年も宇都宮市シルバー人材センターの会員の皆様にご協力いただき、「かえるの編みぐるみ」や「石けん」、「小物入れ」などの販売も行いました。

会員の皆様が手作りで作られた作品に、たくさんの方が足を止められ、会員の熱心な説明に耳を傾けていらっしゃいました。今年もシルバー人材センターのブースは大変賑わい、シルバー事業のPRができました。



会員の方が元気に接客しました



「パンフレットいかがですか。」



編みぐるみは子供に大人気!!

安全就業研修会

10月8日に、とちぎ健康の森で安全就業に関する研修会が開催されました。今回は、県内のシルバー人材センターの会員と職員が対象で、前半は連合会の職員による県内の事故発生状況についての講話、後半はグループに分かれて、植木の剪定作業と草刈り作業の事故に関する原因や対策等について討議しました。

グループワークは初めての試みでしたが、会員の方々が積極的に発言しておられ、活発な討議がなされていました。参加した職員からも、「会員の目線からの貴重な意見を聞くことができ、良い機会だった。」との話があり、職員にとっても有意義な研修会となったようでした。



活発な討議が交わされました

グループワークでの事例内容

作業内容	安全対策
植木剪定作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット、安全帯を必ず着用する。 ・脚立(梯子)と樹木をロープで固定する。 ・無理な姿勢で作業しない。
刈払機作業	<ul style="list-style-type: none"> ・キックバックの原因となる往復刈りは絶対にしない。(2段刈り、3段刈りを併用) ・危険区域(半径5m)以内には立ち入らない。(笛等で合図する。)

安全・適正就業パトロール

各シルバー人材センターが実施している安全パトロールに、連合会の職員が同行して、作業の環境が安全であるか、また、作業の手順や服装は適切であるか等について確認しました。

今年度は、7月から8月にかけて、宇都宮市、栃木市、日光市、矢板市、上三川町、壬生町、茂木町の7ヶ所のセンターを訪問し、主に、草刈り・除草作業や植木の剪定作業の現場を確認しました。草刈り作業では、周囲に石などが飛んで車や建物を傷付けないように、防護ネットを使用して注意しながら作業されており、そのネットも会員が自ら作成した物との話がありました。植木の剪定作業では、使用する脚立の高さを4メートルまでに制限して、ヘルメットや安全帯の着用を義務付けているセンターもありましたが、ヘルメットを着用していない例や木に登って作業している例も若干見受けられました。高所での作業であるため、十分注意いただきたいと思います。



植木剪定作業風景(上三川町SC)



草刈り作業風景(壬生町SC)

高齢者活躍人材育成事業について

平成27年6月から、高齢者活躍人材育成事業が栃木労働局委託の新規事業としてスタートしました。この事業は地域の高齢者とシルバー人材センターの会員を対象とし、現役世代を支える育児保育分野や地域における人手不足分野において活躍できるよう、必要な知識や技能を習得するための講習会を実施し、講習修了者のシルバー派遣事業での就業を支援するものです。



職能団体や専門講師などの協力により、育児・保育支援、介護送迎運転、パソコン基礎講習等の9種、延べ37回の講習会が開催され、既に143名の会員と86名の一般高齢者の参加がありました。(11月18日現在) また、講習会終了後のシルバー派遣就業説明会では、センターの職員から、派遣事業における就業先の開拓の現状など、苦労話を交えた説明もあり、活発な意見交換が行われました。

(写真：接遇マナー講習・鹿沼市)

第1回事務局長会議

シルバー人材センター事業の運営に係る課題の検討や、情報交換を目的とした事務局長会議が9月29日に開催されました。会議の冒頭では、安全就業優良賞に輝いた益子町シルバー人材センターに表彰状が授与されました。

会議の内容については、9月7日に開催された全国シルバー人材センター事業協会による「第2回都道府県事務局長会議」の報告や、重点課題である「会員の確保」、「就業機会の拡大」、「安全・適正就業の確保」に関する県内の状況と連合会における取組み等の報告がありました。



益子町SCに表彰状が授与されました

その他、労働者派遣法改正法が9月30日に施行されるあたって、シルバー人材センターが行う派遣事業に係る内容の説明や、マイナンバー制度の概要及び今後のセンターの対応等について説明がありました。

☆☆☆ 栃木県内シルバー人材センター電話番号一覧 ☆☆☆

宇都宮市SC	☎028-633-5300	上三川町SC	☎0285-56-8766
足利市SC	☎0284-44-1511	那須烏山市SC	☎0287-88-7731
栃木市SC	☎0282-23-4165	壬生町SC	☎0282-82-4682
鹿沼市SC	☎0289-65-3200	高根沢町SC	☎028-676-0099
佐野市SC	☎0283-23-7765	那須町SC	☎0287-72-6321
小山市SC	☎0285-28-4130	下野市SC	☎0285-47-1124
真岡市SC	☎0285-84-1110	茂木町SC	☎0285-63-4970
矢板市SC	☎0287-43-6660	塩谷町SC	☎0287-45-0157
日光市SC	☎0288-22-5168	野木町SC	☎0280-56-2137
那須塩原市SC	☎0287-37-5121	芳賀町SC	☎028-677-0246
大田原市SC	☎0287-23-1255	市貝町SC	☎0285-68-3722
さくら市SC	☎028-682-1369	益子町SC	☎0285-70-1113
那珂川町SC	☎0287-92-5730		

※SCはシルバー人材センターの略称です。

お問い合わせは、あなたのまちのシルバー人材センターへ

配分金に対する所得税法上の取扱いについて

シルバー人材センターで働いたことによって得た配分金は、所得税法上『雑所得』として取り扱われます。

所得税の算式

[雑所得(※) - 基礎控除額38万 - その他の所得控除] × 適用所得税率 = 所得税額

※雑所得の算式

{ (配分金 - 配分金控除65万円まで) + (公的年金等 - 公的年金等控除) } = 雑所得

なお、公的年金やその他の所得があれば、それぞれの所得について控除額を算出するものと、基礎控除のように全体の所得から控除する場合と両方を計算し、確定申告を行う必要があるかどうかを判断してください。

注) あくまでも、判断のための算式となりますのでご注意ください。

公的年金等控除については「公的年金等に係る雑所得の速算表」(税務署にあります)から算出してください。

マイナンバー制度について

平成28年1月からマイナンバーの利用が開始されます。マイナンバーとは、日本国内の全住民に付与される、一人ひとり異なる12桁の番号をいいます。主に、国の行政機関や地方公共団体などにおいて、社会保障、税、災害対策の分野で活用されます。

このマイナンバーは、職員のみならず、派遣事業において仕事をされている会員の方にも報告していただく必要があります(請負・委任のみ就業されている会員の方は対象外です)。

対象の方には、センターから御連絡を差し上げますので、その際には御協力をお願いいたします。

表紙の解説

「ジャパンカップサイクルロードレース」

ジャパンカップサイクルロードレースは、1990年に宇都宮市で行われたロードレースの世界選手権を記念する大会として1992年から開催されています。この大会はアジアの最高位にある自転車ロードレースであるため、ツール・



ド・フランスやジロ・デ・イタリアなどの世界で活躍する選手たちが集い、トップレベルの競い合いを見せてくれます。

大会前夜に行われるチームプレゼンテーションは、昨今の自転車ブームの影響もあり、有名選手を間近で見ることができるとあって大変な盛り上がりを見せています。初日は、中心市街地の大通りを交通規制して行われるジャパンカップクリテリウムです。距離の短い周回コースを回るため、何度も選手たちの姿を観ることが出来ます。6回目となる昨年は、初めての日本人優勝者(裏表紙写真: 別府選手)が誕生しました。2日目は、市内森林公園の特設周回コースを会場に開催されるジャパンカップサイクルロードレースです。ダウンヒルのハイスピードや上り斜面でのアタックなど、アップダウンでの選手たちの駆け引きが大きな見どころとなっています。

大会には世界のトップチームのほか、宇都宮ブリッツェンや那須ブラーゼンなど県内のチームも参加しており、今後ますますの盛り上がりが期待されます。

編集委員

- | | | | |
|---------|-------|--------|------------|
| ■宇都宮市SC | 菊池 達弥 | ■小山市SC | 石川 恵 |
| ■大田原市SC | 山口 翔大 | ■益子町SC | 黒子 聡久 |
| ■野木町SC | 山崎 喜人 | ■塩谷町SC | 斎藤 久雄 |
| ■連合会 | 早乙女 弘 | 山中 貴志 | 小川 健 坂本 裕子 |

編集後記

編集委員が変わりました。皆様楽しんでいただける紙面になるよう、がんばりたいと思います。

公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森内

TEL: 028-627-1179 FAX: 028-627-2522 HP: <http://www.sjc.ne.jp/tochisiren/>